

発行者

徳島大学睦眉会

徳島大学医学部保健学科同窓会

徳島県徳島市蔵本町3-18-15 〒770-8509

徳島大学医学部保健学科内

TEL 088-633-9067 FAX 088-633-9070

発行責任者 河田明男

## グローバル化とグローカル化



徳島大学長

## 香川 征

最近、耳にタコができるほどグローバル化ということを目にします。大学も、競争的環境の中で“グローバル化”、“国際化”がキーワードとなっています。しかしながら、一方では地域社会への貢献が重要であり、自分の足元を見直し、地域での基盤をしっかりさせることが必要ともいわれています。これらのことは、グローバル化に対しグローカル化という造語でよばれています。

グローバル化もグローカル化もどちらも重要で、そのバランスが重要であると個人的には思っています。すなわち、徳島大学の特徴を生かし徳島大学らしいグローバル化とグローカル化が必要ということだと思っています。

さて、ここ数十年で医療界は医療機器、技術を含め大変な発展・進歩をとげています。また医療に関する情報は膨大です。そのことは医療人としての職業の複雑性の高度化としてそれぞれに意識されているところです。このことは医療人の各職種にさらなる高度な専門性獲得の要求が高まっていることから理解できます。ひいては高度専門化された他職種への理解の減退が指摘されています。これらの反省から、“総合医療”という言葉に代表されるように医療人の各職種間を越えた全体的医療が必要とされています。

今後は他の職種の十分なる理解のもとに、患者中心の全人的医療を遂行するためにはどのような教育・研究・実習が必要かつ重要となってくるかを常に考慮しながらカリキュラム等を考えなければなりません。全体的には、学生個人個人がキャリアデザインを描けるような教育が必要となっています。

大学全体が法人化後厳しい環境に置かれていますが、前述のごとく徳島大学の特徴を生かした徳島大学らしいスタイルを確立することが要求されています。



睦眉会会長

## 河田 明男

(診療放射線技師学校  
第3期生)

## Missionを極めよう

世相は中国・ロシアとの問題で騒擾の一途ですが、自民党政治から民主党に交替して、良くも悪くも政治の有り様が明瞭になったと思います。22年度診療報酬改定でも、病院への配慮が見られます。歳入と歳出のメカニズムを明らかにすべく「仕分け」も行っています。

我々医療技術者が注目するのは、技術者の「テクニカル・フィー」の有り様です。

Missionとは「個人が自らに課した使命・天職」です。

我々は技術を習得し、研究・臨床の場面で反映させる事を喜びとして働きます。結果として「施設基準」「認定看護師」「専門技師」等を取得し、高度な技術に裏付けされたケアを患者に提供する事で、「患者満足」を実現して行きます。個人の能力向上を反映するシステムは、着実に構築されて来ました。組織としての能力向上を図る取組も進行しております。医療は地域との連携の下に展開されています。院内では「院内パス」・地域とは「地域連携パス」の運用の下、シームレスな医療が展開されます。病院では外部機関による多様な

評価を得て、外部からのチェックに耐えられる医療組織へと転換しています。医療技術者が各種認定を取得する事で、診療報酬上の加点を得て高度先進の医療が行われ、結果として早期の離床、早期退院が実現されます。急性期病院ではパス運用の下、安定期になれば転院、自宅療養となります。

この急性期病院での医療費は各種施設基準・認定医療者による加算で以前より多額な医療費を支払う事となります。患者にとっては以前より多くの医療費を支出するに値する病院環境、医療技術、ケアであったか?が最大の関心事です。個々の患者にとって安全・安心・満足な医療環境であったか、我々はそれを提供出来ていたか、優れた接遇が行われたかが問われます。専門職である以上、自己実現の為に専門技師・認定技師の積極的な取得は重要な事ですが、Missionを極めると言う事は医療の主体である患者に評価され感謝される事が目的であるはずで、医療現場である「職場」と「患者」と「自己」を、将来を見据えてより広い眼で俯瞰しつつ業務に精励して行きたいと考えています。

藍の花





name.

**村上 浩**  
むらかみ ひろし



診療エックス線技師学校 昭和37年卒業  
昭和37年4月徳島県立中央病院採用  
昭和56年4月中央放射線部技師長

平成14年3月同病院退職  
平成2年4月～平成17年3月  
(社)徳島県放射線技師会・会長として活躍  
(社)日本放射線技師会・理事としても永く活躍する。  
永年の保健功勞に対し平成18年5月瑞宝双光章を授与される。

放射線技術学科卒業生では初の叙勲であり、従事する職業への社会的評価の現れでもあります。また今回の受章は後に続く人にとっても大きな励みとなります。



name.

**廣田 玲子**  
ひろた れいこ

徳島大学医学部附属看護学校  
昭和35年卒業  
社団法人愛媛看護協会会長

卒業後、昭和42年まで公立学校共済四国中央病院で勤務され、その後、母校である徳島大学医学部附属病院において第一線でご活躍になる。昭和48年からは国立板西療養所附属看護学校で教職に従事される。昭和50年から再び臨床に管理・指導的立場で戻られ大阪大学医学部附属病院看護師長を歴任、同年、愛媛大学医学部附属病院看護部長に就任された。平成11年から平成14年まで聖カタリナ女子大学教授に就任され後進の教育に貢献される。平成12年より現職。

この間、昭和62年に社団法人愛媛看護協会会長表彰、平成5年には愛媛県知事表彰、平成12年には日本看護協会会長表彰を受賞される。平成14年には勲六等宝冠章を授与される。



name.

**三宅 武**  
みやけ たける

徳島大学医学部附属衛生検査技師学校  
昭和41年卒業  
卒業後、徳島鉄道病院、四国鉄道病院の臨床検査室に勤務  
昭和61年 田岡病院臨床検査室に勤務  
平成17年 退職  
平成17年 日本野鳥の会徳島県支部長に就任

臨床検査技師として働きながら、四季折々の野鳥観察も昭和45年ころより愉しんできました。退職後は野鳥の世界に身も心も浸れる予定でしたが、日本野鳥の会徳島県支部長を受ける事になりました。「人も野鳥も地球の仲間」と言われますが、運命共同体である大半の野鳥はすでに減少または絶滅危惧種にされています。地球規模の環境悪化阻止に対して、今こそ人間の英知が試されるときです。在任期間中は野鳥の代弁者となり、環境保護の警鐘を鳴らしていきます。



name.

**竹内 美恵子**

たけうち みえこ



徳島大学医学部附属看護学校  
 (現保健学科看護学専攻) 昭和37年卒業  
 徳島大学医学部附属助産婦学校  
 (現徳島大学助産学専攻科) 昭和38年卒業  
 徳島大学名誉教授  
 徳島大学看護教育支援センター  
 スーパーアドバイザー

昭和38年に徳島大学医学部附属助産婦学校卒業後、徳島大学病院で5年間の臨床経験を終えられ、その後38年間、助産師-看護師教育に邁進され、平成18年に定年退職されました。この間、母校を附属助産婦学校から医療技術短期大学部助産学特別専攻へ、続いて医学部保健学科に改組し、更には、大学卒業後修業1年間の国立大学最初の助産学専攻科設置へと、昼夜を越えてその準備に励まれました。竹内先生のご薫陶を受け活躍する助産師は総勢764名です。

現在は、徳島大学看護教育支援センターで、アドバイザーとして卒後教育の場で活躍される一方、学術団体としての発足に尽力された日本助産学会や日本助産評価機構、社団法人日本助産師会、International Confederation of Midwivesの役員として、国際会議にも出席され、国内外で活躍されています。本年3月、厚生科学研究メンバーとして、助産師ガイドラインを策定されました。

# 活躍する卒業生

この原稿は徳島大学本部(新蔵地区)にある日亜会館1階の「ギャラリー新蔵」の展示室に銅板で展示されています。



name.

**宮井 千恵**

みやい ちえ



徳島大学医学部附属看護学校 昭和47年卒業  
 高知大学医学部附属病院 看護部長・副院長  
 社団法人高知県看護協会 第一副会長  
 高知県知事表彰 平成19年11月

昭和47年徳島大学医学部附属看護学校を卒業後、約9年間同病院の小児科病棟や脳神経外科病棟に勤務された。昭和56年高知医科大学医学部附属病院の創設準備メンバーに抜擢され転出、過酷な状況下で手腕を発揮された。開院後約10年間は看護部長として主に小児看護に携わってこられ、平成7年には看護部長に就任され、今日に至っている。

看護部長就任後は、人材確保と育成に情熱を傾け、心の通う人間関係の構築に努力され、辞職率の激減や看護師自身がキャリアデザインを描くなどの成果をあげられている。また、平成16年からは副院長を兼任され、病院の機能改善にも取り組んでこられた。都道府県がん診療連携拠点病院として「がんにおける質の高い看護師育成研修」を高知県より委託、主催され、平成19年11月、医療功労者として高知県知事表彰を受賞された。さわやかな笑顔が魅力的な卒業生代表である。



## わが母校に帰ってきました♪

睦眉会では、徳島大学創立60周年記念事業の一環として、平成22年3月21日（日）に蔵本キャンパスにおいて、「ホームカミングデー」を開催しました。当日は約60名の卒業生や元職員の参加をいただき、盛大に終わることができました。

講演会では、徳島県病院事業管理者の塩谷泰一先生を講師に迎えて、「県立病院と総合メディカルゾーン構想」についてご講演いただきました。塩谷先生から徳島大学医学部生時代の思い出話を交えて、病院が最高の仕事をするための「Mission、Passion、Action」のお話は感慨深いものでした。

最近の蔵本キャンパスは、  
徳島大学病院西病棟  
の完成や、保健学  
科C棟の完成、

保健学科B棟の大改修も終了するなど、大きく環境が変化し、充実した学習環境が整えられつつあることを実感しました。

最後に、懇親会では、何十年ぶりに会った同級生同士の会話は盛り上がり、楽しい時間を過ごすことができました。

睦眉会理事 市原多香子  
(看護学校36期生)





## 関東びざん会に参加して 会長 河田 明男

10月2日(土)16:00から東京・原宿は表参道にある「倶楽部パソナ」を会場に、第2回関東びざん会が開催されました。香川学長の臨席の下、関東地区・各同窓会の役員、会員が一堂に会し「徳島大学の今日とこれから」をテーマに会は進みました。参加者は50余名で学長挨拶の後、各同窓会会長の挨拶へと移りました。関東地区に於ける徳島大学出身者が学部・学科を越えた横断的展開を期する事が、この会の趣旨でした。

懇親会では「倶楽部パソナ」に所属するピアノとバイオリンの美女2名によるクラシック演奏が流れる中、祝宴が始まりました。開放実践センター以外の7同窓会から役員等の出席が得られ、横断的会合の開催目的は達成されたのではと思います。来年は「関西びざん会」が関西地区にて開催されます。役員の方、ぜひ一緒にしましょう。



## 平成22年びざん会 に参加して

睦眉会監事  
後藤 美弥子  
(看護学校10期生)



7月24日(土)猛暑の夏の始まりを予感させる日、会場の阿波観光ホテルは華やかな緊張に包まれていました。メインテーブルには歴代の学長が着席され、徳島大学の発展の歴史が想起されました。病院長として再開第3期完成まで手腕を揮われた香川学長は、21世紀にあるべき大学運営・統合的な発展に立ち向かう決意を述べられました。引き続き各同窓会代表の挨拶に入りました。わが睦眉会河田会長は、堂々と同窓会発展の推移を語り、今こそ徳島大学同窓会連合会の横の繋がりが大切と述べ

ました。全国レベルの連合会出席を惜しまない会長の姿勢、役員一同誇りに思っています。今回、歯学部「蔵歯会」の方達、寺尾先生とも同席し和やかな会食となりました。現役時代お世話になった事務部の方達、若かりし頃医療現場でご一緒した先生方との楽しい会話は長い人生の思い出となります。

河田会長と梅野先生のお誘いで、坂野啓一副会長・手塚健一監事・中道玲子理事と共に初めて参加しました。平成8年1月26日設立総会から14年、同窓会活動に参加させて頂き本当に良かったと感謝しています。



## 退職に想う

元徳島大学大学院ヘルスパイオサイエンス研究部准教授  
医用情報科学講座 放射線理工学分野 八木 浩史

今年の3月、41年間勤務した徳島大学を定年退職いたしました。徳島大学睦眉会様からのご厚志に厚く御礼申し上げます。

私の勤務は附属学校(放射線技師学校の3年制がスタート)に始まり、附属学校の閉校、医療技術短期大学の設置と廃止、保健学科の設置、大学院の設置と見守ってきました。私は放射線技師学校以外に、看護学校で17年間、物理学を、臨床(衛生)検査技師学校で18年間、物理学と物理学実験をも担当していました。また、登山部(風岳会)と写真部とのクラブ活動を通して助産婦学校の学生さんとも交流がありました。この間、放射線系約1,000名、看護系約600名、そして臨床系約400名と総計約2,000名の卒業生を送り出しました。今でも、卒業生から同窓会や結婚式への招待など交流が続いています。

退職というのは、なかなか面倒なことです。とにかく作成する書類の多いこと、半端な数ではありません。在職中は事務職員の方々のお世話になり作成できますが、4月以降は全て自分で作成しなければなりません。ただただ、年金を無事に受領できるようにと頑張りました(まだまだ、税金という大

問題がありますが)。収めるお金は、何もなくてもきっちり徴収されますが、頂くお金は、間違いなく申請しなければ受領できない、ということがよく分かりました。

退職後は、隔週で名古屋のNPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会へ出向き、乳癌死亡の減少を目指して力を尽くしています。さらに、Team Giya Lab. を立ち上げ、卒業生の論文作成の相談や研究への助言を行っています。長年の教職生活で培った人脈を必要とする研究会の立ち上げや、その研究会の名誉職をもしています。

今後も学会には顔を出しますので、見かけたときは声を掛けてください。ただし、寄る年波で記憶力が衰え、名前を失念することが多いので、ご容赦下さい。



Team Giya Lab. :

医学物理士・医学博士;八木浩史;t\_giya@yahoo.co.jp

# 平成22年度 徳島大学睦眉会総会報告

日 時：平成22年 7月11日 (日) 場 所：ホテルクレメント徳島

日 程：1. 平成22年度睦眉会総会 10:00~10:30  
 2. 第8回睦眉会主催講演会 10:40~11:40

演題「徳島県における糖尿病医療観光の試み」

講師 松久 宗英 教授 (徳島大学 糖尿病臨床・研究開発センター)

## 総会次第

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議 事
  - (1) 平成21年度事業報告
  - (2) 役員会報告
  - (3) 平成21年度会計報告
  - (4) 会計監査報告
4. 議案審議
  - (1) 平成22年度予算案、事業計画案について
  - (2) 役員改選案について
5. その他
6. 閉 会

## 平成21年度 事業報告

1. 睦眉会主催 新入生歓迎昼食会の開催 ..... 平成21年 4月 6日
2. 藍眉会 (放射線 近畿地区OB会) への出席 (会長) ..... 平成21年 7月11日
3. 総会の開催 (役員会で総会に代える) ..... 平成21年 7月16日  
(参加者役員16名)
4. 徳島大学同窓会連合会交流会「近畿びざん会 (大阪)」への出席 (会長) ..... 平成21年 7月18日
5. 睦眉会会員名簿 (2009) の発行 ..... 平成21年 8月 4日
6. 徳島大学創立60周年記念式典への出席 (会長他) ..... 平成21年11月 2日
7. 睦眉会会報 (第9号) の発行 ..... 平成21年12月15日
8. ホームカミングデーの開催 ..... 平成22年 3月21日  
(参加者 65名: 会員52名、一般13名)  
 ・講演会: 徳島大学病院 日亜メディカルホール 演題「県立病院と総合メディカルゾーン構想」  
 講師 塩谷 泰一 先生 (徳島県病院事業管理者)  
 ・キャンパスツアー: 徳島大学蔵本キャンパス  
 ・懇親会: 徳島大学青藍会館内 エルゴ
9. 卒業式・医学部各賞授与式出席 (会長他) ..... 平成22年 3月23日
10. 卒業・修了記念品の贈呈 ..... 平成22年 3月23日
11. 青野敏博学長退任記念祝賀会への出席 (会長) ..... 平成22年 3月26日

## 役員会報告

### 1. 役員会開催状況 (平成21年 4月~22年 7月)

年度	回数	開 催 日	場 所	参加人数
H. 21	1回	平成21年 6月 8日 (月)	医学部第二会議室	17名
	2回	総会開催 (役員会) 平成21年 7月16日 (木)	医学部第二会議室	16名
	3回	平成22年 3月 1日 (月)	医学部第二会議室	20名
	4回	平成22年 3月10日 (水)	医学部第二会議室	18名
H. 22	1回	平成22年 4月21日 (水)	医学部第二会議室	11名
	2回	平成22年 6月 3日 (木)	医学部第二会議室	16名
	3回	平成22年 7月 1日 (木)	医学部第四会議室	22名
	4回	総会開催 平成22年 7月11日 (日)	ホテルクレメント徳島	36名

### 2. 各種委員会開催状況

委員会名	開 催 日	場 所	参加人数
60周年事業委員会	平成21年10月14日 (水)	医学部第二会議室	5名
会報委員会	平成21年 9月 1日 (火)	医学部第二会議室	7名
	平成21年10月19日 (月)	医学部第四会議室	7名
	平成21年11月12日 (木)	医学部第二会議室	7名
ホームページ委員会	随時		2名

### 3. 役員会・委員会における主な協議事項

- 1) 睦眉会総会・講演会について
- 2) 睦眉会役員改選について
- 3) 睦眉会会報の発行について
- 4) 睦眉会会員名簿の発行について
- 5) 睦眉会の役員の委員会活動について
- 6) 徳島大学同窓会連合会への協力について
- 7) 徳島大学60周年事業への協力について
- 8) ホームカミングデーについて
- 9) ホームページ運用について
- 10) 新入生歓迎昼食会開催について
- 11) 卒業・修了記念品について

## 平成21年度 睦眉会会計報告

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

## 【収入の部】

項 目	金 額
本部会費 (161名分)	3,220,000
貯金利子	4,085
繰越金	8,583,974
その他 (ホームカミングデー懇親会会費)	90,000
<b>収入合計</b>	<b>11,898,059</b>

## 【支出の部】

項 目	金 額
総会費用	20,435
印刷費・送料 (会報代を含む)	1,091,217
会議費	169,536
慶弔費 (入学卒業記念品, 退職教員記念品代を含む)	648,575
雑費	125,971
睦眉会会員名簿代金 (睦眉会買取分)	1,800,840
徳島大学 60 周年事業寄付金	500,000
ホームカミングデー費用	167,533
<b>支出合計</b>	<b>4,524,107</b>

## 【収支決算の部】

総収入額	総支出額	次年度繰越額
<b>11,898,059</b>	<b>4,524,107</b>	<b>7,373,952</b>

平成22年3月31日 会計 竹林 桂子

## 会計監査報告

平成21年度の会計報告書を監査いたしました。会計処理は適正に、正確に処理されていることを証明いたします。  
平成22年6月3日 監事 後藤美弥子  
手塚 健一

\*以上の報告事項は、すべて承認されました。

## 平成22年度 睦眉会予算

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

## 【収入の部】

項 目	金 額
本部会費 (158名分)	3,160,000
貯金利子	5,000
前年度繰越金	7,373,952
<b>収入合計</b>	<b>10,538,952</b>

## 【支出の部】

項 目	金 額
総会・講演会費用	300,000
印刷費・送料 (会報代を含む)	1,300,000
会議費	200,000
慶弔費 (入学・卒業記念品, 退職教員記念品代を含む)	700,000
雑費	150,000
予備費	7,888,952
<b>支出合計</b>	<b>10,538,952</b>

\*予算案は提案どおり可決されました。

## 平成22年度 事業計画

1. 新入生歓迎昼食会の開催 ..... 平成22年4月6日
2. 近畿地区放射線技師同窓会「藍眉会」への出席 (会長) ..... 平成22年4月17日
3. 総会・講演会の開催 ..... 平成22年7月11日
4. 徳島大学同窓会連合会交流会「びざん会」への出席 (会長他) ..... 平成22年7月24日
5. 徳島大学同窓会連合会交流会「関東びざん会」への出席 (会長) ..... 平成22年10月頃の予定
6. 睦眉会会報の発行 ..... 平成22年11月頃の予定
7. 卒業式・医学部各賞授与式出席 (会長他) ..... 平成23年3月23日
8. 卒業・修了記念品の贈呈 ..... 平成23年3月23日

\*事業計画案は、提案どおり可決されました。



## 平成22・23年度 徳島大学睦眉会 新役員

(2010.7月～)

役職	氏名	所属	勤務先	所在地	電話番号	
名誉会長	二宮 恒夫	学科長	徳島大学医学部保健学科長 (徳島大学大学院HBS研究部：看護)	〒770-8509 徳島市蔵本町 3-18-15	TEL 088-633-9030	
会長	河田 明男	放	徳島県立中央病院 医療技術局 放射線技術科	〒770-8539 徳島市蔵本町 1-10-3	TEL 088-631-7151	
副会長	東條 幸美	看	徳島大学病院 西病棟 4 階	〒770-8503 徳島市蔵本町 2-50-1	TEL 088-633-7230	
	坂野 啓一	放	徳島大学病院 診療支援部 診療放射線技術部門	〒770-8503 徳島市蔵本町 2-50-1	TEL 088-633-9090	
	江原 隆	検	徳島市民病院 中央検査科	〒770-0812 徳島市北常三島町 2-34	TEL 088-622-5121	
	杉原 治美	助	徳島大学病院 地域医療連携センター	〒770-8503 徳島市蔵本町 2-50-1	TEL 088-633-9401	
理事	事務局	梅野真由美	検	徳島大学大学院HBS研究部 医用検査学講座	〒770-8509 徳島市蔵本町 3-18-15	TEL 088-633-9067
		会計	市原多香子	看	徳島大学大学院HBS研究部 看護学講座	〒770-8509 徳島市蔵本町 3-18-15
	竹林 桂子		助	徳島大学大学院HBS研究部 看護学講座 助産学	〒770-8509 徳島市蔵本町 3-18-15	TEL 088-633-9081
	総務		桑村 由美	看	徳島大学大学院HBS研究部 看護学講座	〒770-8509 徳島市蔵本町 3-18-15
		富永 正英	放	徳島大学大学院HBS研究部 医用情報科学講座	〒770-8509 徳島市蔵本町 3-18-15	TEL 088-633-9863
		松浦千恵子	検	徳島大学大学院HBS研究部 医用検査学講座	〒770-8509 徳島市蔵本町 3-18-15	TEL 088-633-9069
		葉久 真理	助	徳島大学大学院HBS研究部 看護学講座 助産学	〒770-8509 徳島市蔵本町 3-18-15	TEL 088-633-9080
理事	看	加根千賀子	徳島大学病院 西病棟 9 階	〒770-8503 徳島市蔵本町 2-50-1	TEL 088-633-7662	
		真鍋 理絵	徳島大学病院 東病棟 2 階	〒770-8503 徳島市蔵本町 2-50-1	TEL 088-633-9321	
		米田 好美	徳島市民病院 回復期・リハビリテーション病棟	〒770-0812 徳島市北常三島町 2-34	TEL 088-622-5121	
		岩佐 京子	徳島大学病院 眼科外来	〒770-8503 徳島市蔵本町 2-50-1	TEL 088-633-7161	
	放	天野 雅史	徳島大学病院 診療支援部 診療放射線技術部門	〒770-8503 徳島市蔵本町 2-50-1	TEL 088-633-9090	
		山田 健二	徳島大学病院 診療支援部 診療放射線技術部門	〒770-8503 徳島市蔵本町 2-50-1	TEL 088-633-9090	
		山岡 哲也	徳島県立中央病院 医療技術局 放射線技術科	〒770-8539 徳島市蔵本町 1-10-3	TEL 088-631-7151	
	検	笹川知位子	徳島県立中央病院 医療技術局 検査技術科	〒770-8539 徳島市蔵本町 1-10-3	TEL 088-631-7151	
		阿部 房江	徳島大学病院 診療支援部 検査部	〒770-8503 徳島市蔵本町 2-50-1	TEL 088-633-9307	
		山田 順子	徳島県立中央病院 医療技術局 検査技術科	〒770-8539 徳島市蔵本町 1-10-3	TEL 088-631-7151	
		助	中道 玲子	自 宅	〒770-0006 徳島市北矢三町 4-9-8-2	TEL 088-631-5801
	前田 恵子		徳島大学病院 小児科外来	〒770-8503 徳島市蔵本町 2-50-1	TEL 088-633-7132	
	監事	後藤美弥子	看	自 宅	〒771-0142 徳島市川内町沖ノ島 447-14	TEL 088-665-2491
手塚 健一		検	自 宅	〒779-3124 徳島市国府町中 570-2	TEL 088-642-0324	

# 徳大ニュース

徳島大学に関するニュースをお届けします。詳細は徳大広報並びに本学ホームページを御覧ください。  
また、会員の皆様の御意見や御要望をお寄せください。



徳島大学総務部総務課 (Tel:088-656-7021 Fax:088-656-7012)

E-mail : bunsyok@jim.tokushima-u.ac.jp URL:http://www.tokushima-u.ac.jp/

## I 学内の状況

### ■ 新学長の就任、第二期中期目標・中期計画期間の開始

平成22年4月、香川征（かがわすずむ）氏が徳島大学長に就任しました。香川氏は、昭和44年3月に本学医学部医学科を卒業、昭和46年に本学医学部附属病院泌尿器科に入局され、昭和63年医学部教授、平成9年副病院長、平成11年病院長を歴任されました。

本年から、国立大学法人は第2期中期目標・計画期間を迎え、運営組織の見直しや様々な改善を進めています。

まず、第1期には5名いた理事を3名体制とし、それに伴い拡大する理事の所掌範囲について円滑な業務運営を図るため、副理事、役員参与を置きました。

さらに、運営組織による戦略を深められるよう、これまでの「機構」体制を見直し、教育、研究、地域連携、国際連携、情報、男女共同参画といったカテゴリ毎に特別な組織として「戦略本部（室）」を置きました。

このように組織の枠を越えた研究の推進、そしてその優れた研究を基礎とし、学生・大学院生等の満足と国民からの信頼が得られる教育の推進など国際社会でも高い評価が得られる大学を目指しています。

### ■ 徳島県による寄附講座を設置

平成22年4月、徳島県地域医療再生計画により4つの寄附講座を設置しました。

大学院ヘルスバイオサイエンス研究部では、従前より県の委託による受託講座「地域医療学分野」を設置し、多様な疾病に対応でき、地域医療に情熱を持つ総合診療医の養成等に取り組んできました。この成果を踏まえ、寄附講座「総合診療医学分野」に拡大発展させました。

病院では新たに、地域における産婦人科医療・周産期医療に関する教育研究を行う「地域産婦人科診療部」、救急医療・災害医療に関する教育研究を行う「ER・災害医療診療部」、地域における外科医療に関する教育研究を行う「地域外科診療部」の3講座を設置し、常勤医師が不足している県立病院等を支援するとともに、将来の地域医療を担う医師の養成等に取り組むこととしており、既に各講座からは、県南部の県立海部病院に産婦人科医と内科医を各3名、県西部の三好病院に外科医3名、徳島市内の中央病院に救急医2名を交代で派遣して診療を開始しています。

### ■ 徳島大学栄誉賞の授与

徳島大学卒業生で本学酵素科学研究センター助手、助教授を務めた田中啓二氏（現 財団法人東京都医学研究機構東京都臨床医学総合研究所所長代行）が、第100回日本学士院賞を受賞したことを記念し、7月31日（土）、長井記念ホール（蔵本キャンパス）において市民公開講演会を開催し、田中氏から、蛋白質分解酵素複合体「プロテアソーム」を発見した経緯や若い研究者に対するメッセージなどが語られ、参加した約250人は熱心に耳を傾けていました。

引き続き、徳島大学栄誉賞授与式を開催しました。「徳島大学栄誉賞」は大学の名誉を多に高めた者に贈られるもので、田中氏が第一号の受賞となりました。授与式には、田中氏の恩師や同窓生をはじめ約80名が出席し、同氏の受賞を祝福しました。

## II 学生関係

### ■ 入学式

4月6日、アスティとくしまで平成22年度入学式が挙行され、香川学長が合計2,039名（学部1年次1,330名、学部3年次54名、大学院修士（博士前期）課程516名、大学院博士（博士後期）課程119名、助産学専攻科20名）の入学を許可しました。

入学生を代表し、歯学部歯学科の菊岡星花さんの総代宣誓の後、学長から「『人間力を養い、自分の個性を生かしたキャリアデザインを考えること』、『探求心に基づいた教養的知識と専門的知識の獲得のバランス』、『21世紀に身につけるべきコンピテンシー』の3つの能力が社会で要求されているので、今後の大学生活を有意義に過ごし、大きく成長してください。」との式辞がありました。

## III 研究助成金

外部資金受け入れ状況（平成21年度）

共同研究	169件	285,686千円
受託研究	144件	982,676千円
寄附金	1,666件	771,288千円

## 編集後記



今年の暑さは、30年に1度の異常気象だといわれ、9月に入っても各地で最高気温が記録されました。睦国会会員の皆様、お元気で過ごしてでしょうか？

会報第10号では、活躍する卒業生と題して、睦国会の先輩方5名の方々のご活躍についてご紹介致しました。この原稿は、徳島大学ホームページの中の同窓会連合の欄 (<http://www.tokushima-u.ac.jp/article/0011269.html>) にも掲載されていますので、ぜひ一度そちらもご覧ください。他学部の卒業生と肩を並べて掲載されている悠々たる先輩方の姿は本当に誇らしげです。今回、八木先生からチーム・ギヤの集合写真をお送りいただきました。ご覧いただき、懐かしい思いを抱かれた方も多いかと思います。

睦国会主催の行事での写真撮影につきましては、会報掲載を前提として行っていますが、掲載拒否の方は、撮影時に役員までお知らせください。これからも、睦国会会報を通じて、会員相互の絆を深められる内容をお届けする所存です。ご意見、ご希望等ございましたら、ぜひ、お気軽にご連絡ください。会報委員一同、お待ち致しております。

睦国会理事 桑村由美（短大看護1期生）